

第6回南区自治協議会 議事概要

日 時 令和4年10月26日(水) 午後2時～午後2時55分

会 場 新潟市南区役所4階 講堂

- 次 第
- 1 開会
 - 2 部会報告
 - 3 報告
 - (1) 南区区ビジョンまちづくり計画について(地域総務課)
 - (2) 令和5年度特色ある区づくり予算のスケジュールについて(地域総務課)
 - (3) 南区自治協議会委員研修会について
 - (4) その他
 - 4 次回全体会の日程について
11月30日(水) 南区役所 午後2時から
 - 5 閉会

事前配布資料

資料3 令和5年度特色ある区づくり予算のスケジュール(案)

当日配布資料

- 資料1-1 南区自治協議会第1部会 会議概要
資料1-2 南区自治協議会第2部会 会議概要
資料1-3 南区自治協議会第3部会 会議概要
資料2-1 南区区ビジョンまちづくり計画 素案
資料2-2 素案に対する意見一覧
資料4 南区自治協議会委員研修会の開催について(ご案内)

出席委員： 井上吉一委員，田中美智郎委員，久保安夫委員，豊木 宏委員，川村朋生委員，有田正己委員，小林正義委員，鞠子幸一委員，富井 敦委員，笹川和代委員，山坂和夫委員，鈴木皓旦委員，渡邊喜夫委員，宮崎岩男委員，大籾英之委員，日浦 徹委員，荏原宏美委員，松尾正行委員，野沢文江委員，小嶋ノリ委員，阿部隆一委員，高橋直廣委員，西山久子委員，半間奈菜委員

以上24名

欠席委員： 関川秀明委員，星野 誠委員，大矢洋子委員，佐藤隆行委員，板谷昭人委員

事務局：(南区) 五十嵐区長，山際副区長，江田区民生活課長補佐，佐藤健康福祉課長，石崎産業振興課長，細貝建設課長，小菅南区教育支援センター所長，川村味方出張所長，鈴木地域総務課長補佐，高橋地域総務課長補佐，地域総務課職員

〔Webによるリモート出席(南区)〕 登石月潟出張所長，和田白根地区公民館長，滝沢農業委員会事務局南区事務所長

報道 1名
傍聴者 0名

(午後2時00分)

1 開会

○事務局（鈴木地域総務課長補佐）（配布資料の確認）

○議長（高橋会長） 皆さまご苦労さまでございます。それではごあいさつ申し上げます。少し前の話になりますが、9月3日、割烹金長を会場に、南区主催で大河津分水通水100年を記念したまち歩きと一人語りで振り返る「大水害から白根を守った439俵の米俵」というイベントが開催されました。俗にいう米俵事件は、昭和36年8月5日の水害の際に富月橋付近からあふれ出た中ノ口川の水の勢いが強く、積んでも積んでも土嚢は流され、やむを得ず政府米439俵を土嚢替わりに投入したことで、白根のまちを水害から救ってくれた出来事です。はじめに、約1時間のまち歩きで、この水害や米俵を積んだ現場を見た後、当時20歳だったお店のご主人から、堤防から濁流が押し寄せた当時の模様を語ってもらい、割烹金長に戻って、俳優の小林へろさんによる一人語りをお聞きしました。講談調で米俵事件の緊迫した様子を何人もの登場人物による新潟弁で演じ分け、迫真の語りで体感できました。目頭を押さえていらっしゃる方もおり、手に汗握る白熱の展開に私も大感動しました。本当にもっと多くの人から小林へろさんの一人語りを体験してもらい、水との戦いの歴史と大河津分水路のありがたさ、水害の怖さを知ってほしいと思いました。それでは本日の会議を進めます。

欠席者の報告

傍聴者の報告（所定の手続きを経て、傍聴していることを報告）

取材申込の報告

2 部会報告

○議長（高橋会長） 次第2「部会報告」に入ります。部会の検討状況を各部長から報告してもらいます。はじめに、第1部会長から報告をお願いいたします。

○鞠子委員 第1部会を担当しています大通の鞠子と申します。

今日、報告するのは、先月末の全体会議がなかったので、資料1-1は表が9月分、裏が10月分になっています。ですから、ポイントを押さえて説明させてください。まず、令和5年度の特徴ある区づくり予算につきましては、9月に当部会に関連する提案事業3項目について皆さんで意見やヒアリングをしまして、意見検討いたしました。防災マップの作成なのですが、いろいろな情報を手に入れまして、9月はもう一度、原案をこういうふうにしたいという形で意見を入れました。「My時刻表」についてはそのまま周知活動を行い、また3番目の南区生活交通改善プランの策定につきましては、令和5年度に行うことになりました。

10月です。令和4年度の提案事業については防災マップの作成を行い、内容を確認しまして、確定としました。これは、防災マップを業者さんに依頼しまして、小学校などに、自主防災会などと連携を取り配布させていただきます。これは電子媒体の南区全体のデータでありますので、地域総務課から各地域の自主防災会長とコンタクトをとって、今後、各地域のを作るということについて協議していただくことで内容を確認した次第です。例えば標高なども記入してありますし、AED、コンビニエンスストアの位置、水が出やすいところなどのデータを持っていますので、今度は各自主防災会のほうで拡大したマップを補助金を使って作っていただきたいということです。○の二つ目ですが、「My時刻表」につきましては、各地域でPRを行ってきておりますので、これをうまく展開して、区バスの利用率を上げていただきたいというお願いになります。令和5年度の特徴ある区づくり予算につきましても、引き続き意見交換を行いました。その他として、南区バス・バス停移設ということで、第四北越銀行ができるので、バス停の位置を移動するという報告を受けました。

以上で第1部会の会議内容を説明しました。

○議長（高橋会長） 続きまして、第2部会長から報告をお願いいたします。

○小嶋委員 第2部会を担当しております小嶋と申します。

9月は12日午前10時から行いました。1番目、令和5年度特色ある区づくり予算について、「健康づくり推進事業」と「白南中学校区内小学生ふるさとキャンプ」、「災害時の要支援者の避難を考える」等の意見を皆さんからちょうだいいたしました。2番目、令和4年度第2部会提案事業「家族ふれ愛事業」について、各部会委員が回収した学校の作品から賞選考を行い、受賞作品の結果を発表しました。チラシの校正の確認を行いました。

続いて、10月の部会です。10月17日（月）午前に行いました。1番目、令和4年度第2部会提案事業、「出会いの場づくり事業」について、10月3日から参加者の募集を開始しました。受託業者から事業の進捗状況について報告を受けました。「家族ふれ愛事業」について受賞結果を改めて確認し、賞状や賞品、参加者全員への記念品を決定しました。委員自らチラシを持ち帰り、事業の啓発活動を行いました。2番目、令和5年度特色ある区づくり予算について。来年度に第2部会で取り組む自治協提案事業として提案のあった事業についてヒアリングを行いました。主な意見は、1番目、「女性の社会参画促進大作戦」、地域を担う組織等への女性委員の登用率を上げるため、男女共同参画意識を啓発し、女性の社会参加を促したいという提案に対し、具体的手法等を含め、取り組みの可否を次回以降の部会で検討することにしました。2番目、「ひとり親家庭を宅食で応援!」、3番目、夏休みの宿題サポート「南区みんなの寺子屋」。これは提案委員が欠席したため、次回の部会でヒアリングを行い検討します。4番目、「子どもたちへのビジネス講習」。南区で企業経営者や起業家を育成するための動機付けとして、PTA等と連携し子どものキャリア教育に寄与する事業提案です。昨年度に提案を受け、今まで部会内でブラッシュアップを行ってきました。ほかの提案と比較しながら取り組みの可否を次回以降の部会で検討します。

以上です。

○議長（高橋会長） 続いて、第3部会長からお願いいたします。

○富井委員 第3部会の富井です。

まず、9月13日ですけれども、令和5年度の南区特色ある区づくり予算について事務局から報告があり、今後、部会で検討していくことになりました。2番目として、10月9日に実施した「南区味わい市場」、「しろねの宝さがしとまち歩き」についての詳細を決めて、当日の役割を再確認しました。「味わい市場」ということなので、何か食べてもらいたいと思ったのですけれども、今はまだ難しいのではないかとことで、来られた方に梨一つをプレゼントするというにしました。個数は200としました。2番目として、しろね大凧と歴史の館の展示替えについて事務局よりレイアウトをいただき、6枚を選びました。検討は次回ということです。

続きまして、10月です。10月11日に令和4年度の第3部会の事業について、10月9日に実施した「しろねの宝さがしとまち歩き」、「南区味わい市場」についての意見交換、また、味わい市場に出店した店舗のアンケート、市場の方からの聴き取りなどを行い、今後の事業として検討することとしました。一番の意見は、引き続き来年以降も実施したほうがいいのかという意見が出ていました。補足ですけれども、天候に恵まれ、子どもたちもたくさん来まして、1,000人は超えたのではないかと思います。梨もあつと言う間になくなりまして、早めにサービスしすぎてしまったかなという失敗がありました。2番目としまして、しろね大凧と歴史の館の展示替えですけれども、写真が6枚ということで出ていますので、次回、歴史の館で実際に並べてみたりいろいろなことをして検討しようということにしました。

以上です。

○議長（高橋会長） 続きまして、広報部会長から報告をお願いいたします。

○笹川委員 広報部会長の笹川です。

第2回広報部会は本日、本会議前に開催されました。12月4日発行の南区自治協議会だより第25号の発行について、スケジュール、紙面構成等について話し合いました。

以上です。

○議長（高橋会長） ただいまの報告についてご質問がありましたら、お願いいたします。

ないようですので、部会報告についてはこれで終わりいたします。

3 報告

(1) 南区区ビジョンまちづくり計画について（地域総務課）

(2) 令和5年度特色ある区づくり予算のスケジュールについて（地域総務課）

(3) 南区自治協議会委員研修会について

○議長（高橋会長） 次第3「報告」に入ります。(1)南区区ビジョンまちづくり計画について、地域総務課から報告をお願いいたします。質問は(3)南区自治協議会委員研修会についての報告が終わりましたら一括してお聞きしたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

○事務局（山際副区長） 南区区ビジョンまちづくり計画について地域総務課からご説明させていただきます。現在、新たな南区区ビジョンの作成を進めているところでございます。自治協議会の皆さまにおかれましては、8月の各部会の中で素案の内容を説明させていただき、ご意見をいただいたほか、その後もコミュニティ協議会、にいがた南区創生会議へ意見照会を行い、合計で約50のご意見をちょうだいいたしました。たくさんのご意見、大変ありがとうございました。いただいたご意見を踏まえ、直前まで修正しておりますが、当日配付となってしまって申し訳ございませんでしたが、お手元の資料2-1、区ビジョンまちづくり計画（素案）を本日配付させていただいております。また、資料2-2では、ちょうだいしたご意見とそれに対する回答を一覧表として整理させていただいております。一つひとつの内容のご説明は省略させていただき、詳細は後ほどご覧いただければと思います。なお、具体的な事業のご提案も多くいただきましたが、区ビジョンは、取り組みの方向性を示す計画となりますので、具体的な事業名まで言及できません。区ビジョンに直接取り入れることができなかつたご意見に関しましても、今後の事業実施の際にぜひ参考にさせていただければと考えております。今後の予定につきましては、随時修正作業を進めながら、12月の新潟市議会で説明後、パブリックコメントを実施する予定です。パブリックコメントの結果につきましては自治協議会の皆さまにも内容を共有させていただいて、今後、年度末の計画完成を目指していきたいと思っております。

以上で報告を終わります。

○議長（高橋会長） 続きます、(2)令和5年度特色ある区づくり予算のスケジュールについて、地域総務課から報告をお願いいたします。

○事務局（山際副区長） 地域総務課からご説明させていただきます。資料3になります。7月の自治協議会の本会議で、令和5年度の区づくり予算の提案等についてご説明させていただいたところですが、その際に、現在、予算制度の見直しを行っている関係上、お示しすることがそのときできなかった予算のスケジュール案について今回改めてお示しさせていただきました。この資料3の表の一番下の注釈のほうをご覧ください。委員がご提案された区役所企画事業については①、南区の各課が企画した事業については②、自治協提案事業は③として番号を振っております。表の枠の中にスケジュールの流れを記載しておりますけれども、このうち、左右に11月部会とか11月全体会など会議の時期を記載しておりますが、この中で、真ん中より下の11月部会と書かれてある以降のスケジュールのうち①と②のスケジュールが例年に比べ1か月遅れとなっております。今後、年末に向けて、例年に比べると若干タイトなスケジュールとなりますけれども、そういった面で委員の方にもご迷惑をおかけすることになるかと思っておりますが、今後、部会協議等へのご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（高橋会長） 続きます、(3)南区自治協議会委員研修会について、私から報告させていただきます。資料5をご覧ください。毎年、南区の課題解決に向けて自治協議会委員活動のさらなる活性化を目的に南区の独自研修を開催しております。別紙1をご覧ください。本年度は女性活躍をテーマとし、地域における女性活躍の大切さや、意思決定の場での女性参画の必要性について学ぶため、12月10日（土）に、南区出身で元衆議院議員であり、現在コメンテーターとして活躍されております金子恵美さんを講師としてお迎えし、講演会を開催いたします。また、司会は同じく南区出身でラジオパーソナリティとして活躍中の斉藤瞳さんが務め、進行していただきます。南区自治協議会でも、女性委員の比率が24.1パーセントと低く、女性の参画が南区の課題となっております。ぜひ多くの委員の皆さまからご参加をいただきたいと思っております。

次回全体会の11月30日（水）までに別紙2の出欠確認票を事務局のほうにご提出ください。説明は以上です。

それでは、この三つの報告について、ご質問がありましたらお願いいたします。

○川村委員 ここで今さらなのですが、先ほどの区ビジョンまちづくり計画のほうで意見なのですが今、言ってもよろしいでしょうか。

まちづくり計画のほうで、南区の概要の7ページですが、中世はほとんど低湿地や沼地ですが、鎌倉時代には「比較的標高の高い自然堤防沿い」と書いてあります。この時代の地形を「輪中」といい、白根地区の「輪中」というのは日本全国でも有数の地形だと思っております、「輪中」という形で表記を入れてもいいのではないかと思いましたがいかがでしょうか。

○事務局（山際副区長） ご意見ありがとうございました。皆さま、今日、配付されているいろいろとご覧になって思うこととか、ご意見等、また出てくるかと思しますので、お気づきの点がございましたら、地域総務課のほうにお申し出ください。直せる部分、直せない部分を検討させていただきまして、できるだけ皆さまのご意向に添えるような形で、随時、修正させていただきたいと思っておりますし、また今後、パブリックコメントも予定されておりますので、パブリックコメントの中でもご意見を頂くという形でもよろしいです。ただ今のご意見については、検討させていただければと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

○川村委員 ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○議長（高橋会長） 今のお話しにもありましたように、今日、これは突然渡されておりますので、じっくり見ている時間がないと思います。ご覧をいただいた中で、今の川村委員のように、ここはちょっと修正すべきではないかなどがあったら事務局のほうのお伝えいただく中で、また検討させていただくということです。よろしくをお願いをしたいと思います。

ほかにございませんでしょうか。それではないようですので、(1) 南区区ビジョンまちづくり計画について、(2) 令和5年度特色ある区づくり予算のスケジュールについて、(3) 南区自治協議会委員研修会については、これで終わりいたします。

(4) その他

○議長（高橋会長） 続きまして、(4) その他に入りますが、皆さまのほうから何かございますでしょうか。

○荏原委員 私のほうから、フォーラムについての開催のお知らせをさせていただきます。南区社会福祉協議会よりフォーラムの開催チラシとしまして、皆さまのお手元に配っていただきました。第14回南区社会福祉大会・共に支え合う南区地域づくりフォーラムの開催についてのご案内です。こちら南区健康福祉課より共催をいただいております。日時ですが、令和4年12月3日（土）です。1時半からということで、サルナート吉運堂にて行います。こちらオンラインでの参加も可能となっております。第1部では、南区社会福祉大会の式典、基調講演を予定しております。豊中市の社会福祉協議会の勝部麗子様より来ていただきまして「ひとりぼっちを見逃さない～誰もが安心できるまち・地域の耕し方～」についてご講演をいただきます。また、第2部ですが、パネルディスカッションとして、新潟医療福祉大学の渡邊様よりコーディネーターをしていただきまして、味方地区と月潟地区の支え合いのしくみづくり推進員より、各地区で行われました実践について報告をします。あわせて、南区社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーが登壇しまして、ひきこもりの方の支援についてご報告をする機会となっております。ぜひ自治協議会の委員の皆さまからもご参加いただきますよう、ご案内させていただきます。お時間いただきまして、ありがとうございます。

○議長（高橋会長） 私のほうから、新潟市総合計画審議会の会議が終わりましたので、報告をさせていただきます。6月から全体会2回、部会を4回、計6回の審議を経まして、9月29日の第2回全体会で市長に答申をいたしました。審議会では、総合計画素案については、新潟市の次期総合計画としてふさわしい内容であると評価をしたうえで、活力あふれるまちづくり、持続可能なまちづくりを進めるという理念のもとで、出されました意見、要望を踏まえたうえで、一部、修正を加え、新年度からの円滑なスタートを目指して計画策定を進めるよう要請がありました。この後は、市議会、パブリックコメント、市民アンケート、総合計画審議会の意見を踏まえたうえで修正を加え、12月市議会定例会に議案提案し、令和5年4月から次期新潟市総合計画としてスタートすることとなります。以上で、私が委員として参加をしておりました総

合計画審議会の会議概要についてご報告をさせていただきました。

ほかにございませんか。

○久保委員 9月の全体会が中止になりましたので、9月28日、その全体会の日を実施しました、自治協議会の自主研修の報告をさせていただきたいと思います。

9月の全体会が中止になったので、小林地域生活センターで私のほうから自主研修会を提案し、高橋会長をはじめ8人の委員の方から参加いただきました。あと区役所のほうからは、鈴木課長補佐からも参加いただきました。テーマは、小林コミュニティ協議会が今年の6月から運用開始した車両を使った買い物支援、現状と今後の課題についてということで、小林コミュニティ協議会の小田会長から説明をいただき、また担当する健康福祉部会の方からどのように運用していくかという具体的な話を聞きました。その後、フリートークに入りました。車両を使った買い物支援や移動支援については、複数のコミュニティ協議会による効率的な運営や行政との連携また公共交通との関係などについて、さまざまな意見が出ました。それに関連して、地域などで新たな活動を立ち上げて、またそれを継続していく。そのための組織づくりや人材確保への課題に関する意見交換もできました。そのような意見交換は、小林コミュニティ協議会としても非常に参考になりましたし、参加した委員の皆さまからもいろいろとこれから地域に帰って、また参考にしたいというような話も聞かれました。

今回は、私が所属する小林コミュニティ協議会に来ていただきましたけれども、また各団体、各地域の活動、その場に行ってみたり、聞いたりすることというのは、非常に有意義で楽しいと思いますし、また自分たちの活動を実際に委員の皆さまに見ていただくという機会も非常にいいことかなと思いました。皆さまもそういう機会がありましたら、こういった企画をしてみたらいいかなと思いました。

○議長（高橋会長） ありがとうございます。ほかにございませんか。

○笹川委員 それでは、味方のコミュニティ協議会から、皆さまのお手元にあります穀倉祭について、少しPRさせていただきたいと思います。今日刷りたてのこちらの大変大きなチラシですが、11月6日（日）9時から12時半まで、味方体育館を会場にいたしまして、地域の物産展、味方村のときに姉妹町村でありました北海道様似町の海産物等の物産展、地元の味方農産物の直売所また味方の方々の芸能祭ということで、ステージイベントと、さとちんさんをMCにお招きして、コロナ禍で小学生等が練習しても、なかなか発表の場がないのですけれども、今回、この日のために一生懸命練習をしておりますので、どうぞ委員の皆さまも足を運んでいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（高橋会長） ほかにございませんか。

○鞠子委員 9月の全体会議はなかったのですけれども、中原市長が再任された中でもお話があったのですが、財産活用課の地域の話というのが、どのように動いているかということは、この場で地域総務課を通じて、お話をいただけるとあったのですが、今日の次第の中にはないので、またいきなり各地域のコミュニティ協議会のほうに財産活用課と直ではないわけですから、地域総務課のほうからそういう情報が入っているか、入っていないかくらいの説明は、あるべきじゃないですか。やはり今、旧白根市が、例えば、私も、皆さんもそうなのですから、地域生活センターがこの10年の中でどうだ、こうだという話をしているわけではないですか。やはり各コミュニティ協議会はそれが一番心配なのです。そういう情報がもうどこから入ってくるかということは、私からいえば、この自治協議会からの情報が一番ではないかと思うのです。ここにいらっしゃる方が、私は大通のコミュニティ協議会を見えていますけれども、今、大通に四つある、北部地域に四つある地域センターが一つになるというような話が具体的に案として出ているのに、それも10年などというスパンはもうほんのすくな話なので、その辺を危惧しているのですけれども、そういう情報が入ってこないで、また財産活用課のほうからいきなりぱっと来て、みんなでヒアリングやるよなどという話になることが危惧されているのです。ですから、その辺は、この自治協議会のほうで、定例的に財産活用課と地域総務課でコンタクトを取っていただいて、そのコンタクトを取ってきた情報をここで展開していただきたいというお願いをたしか6月か7月ころにしたつもりなのですが、1か月過ぎると忘れてしまうのかもしれないのですけれども、その辺を今、ないならいいのです。そういう情報展開をしていただきたい。

○事務局（山際副区長） 公共施設の再編にかかるコミュニティ協議会単位の1回目の地域の説明会につきましては、8月の自治協議会の前に12地区全部終わり、8月31日の自治協議会で、報告事項として、主な質疑内容についてジャンル別に一言、二言の表現になりますけれども、こういった質問等が出ましたということで整理をした表を配付し、ご説明したところでございます。今後また地域ごとにそういった説明会が必要であれば、随時、入っていきなり、財産活用課と連携していきたい。今後のスケジュール的なものは、具体的に申し上げられないのですが、必要に応じて自治協議会のほうにも情報提供をさせていただくような形で進めさせていただければと思います。

○鞆子委員 では確認ですけれども、今現在、そういう情報はないということでもよろしいですね。今後のスケジュールでいつ大通がやるとか、そういう話は今時点ではないということですね。

○事務局（山際副区長） この先のスケジュールについては、まだはっきりこの地区がこうだという、そういうスケジュール的なものははっきり申し上げられるものはないという状況です。

○鞆子委員 では、今後は、課長のほうと財産活用課のほうとコンタクトを取って、例えば、今10月ですから11月のこの全体会議の中で情報がなければいけないとかという報告を今後もしていただきたきたいという形でよろしいでしょうか。あくまでも財産活用課と大通が直にやるわけではなくて、地域総務課が入って、各コミュニティ協議会と入っていくというルートだと私は考えているのですけれども、それを認知していただいて、そういう情報展開を毎月の自治協議会の中で一言、その他でも何でもいいので、今現在はないですよという報告をしていただきたきたいというお願いですが、それはよろしいですね。

○事務局（山際副区長） 進捗状況については、報告させていただければと思っています。

○鞆子委員 なければいけないのです。ないということを知りたいので、いきなり財産活用課はぱっと出てきて、ぱっと言い出すかもしれないので、そのときに逆に言うと向こうはこうしたいという案を持っているのだけれども、コミュニティ協議会自身がまだいろいろなコンセンサスが取れていないというような状況が今なのです。多分ほかのコミュニティ協議会もそうだと思うのですけれども。だから、いきなり言われることがこちらはすごく危惧しているのです。それではみんなでヒアリングをやるといったら、てんでんばらばらな意見が出てしまうのです。私は私の意見が出るし、うちの副会長である渡邊さんは渡邊さんの意見は出るし、私はそれを危惧している。そうするとコミュニティ協議会が一体にならないのです。みんなの意見を聞いて、ヒアリングをやるとみんなぼわっとした意見の中で一つのをまとめていかなければいけないのが財産活用課の仕事になってしまうみたいな形になるので、私はそれよりも前にコミュニティ協議会として、どういう方向性を持っていくかということ議論していかなければいけないと思っています。各コミュニティ協議会もそうだと思うのです。課長にお願いしたいのは、財産活用課となるべくコンタクトを取って、来年の1月に大通はヒアリングやりますみたいな情報をなるべく早く手に入れてもらいたいです。どこも年度替わりになれば、コミュニティ協議会の役員だって、何だって変わるのです。各コミュニティ協議会のことも出てきているわけなので、そういう情報をなるべく早く展開していただきたきたいというお願いも含めて、今日、お話しさせていただいたので、今後ともよろしくお願ひします。

○議長（高橋会長） 皆さんこの件についてはよろしいでしょうか。できるだけ今、南区においては関心事の公共施設の再編成の内容でもございますので、できるだけ事務局のほうからもタイムリーな情報提供をお願いしたいと思います。

ほかにございませんか。では、ないようでしたら、事務局のほうから何かございますでしょうか。

○小菅南区教育支援センター所長 第5回の自治協議会で渡邊委員から質問が出ていましたので、その回答をいたします。2点ありました。

1点目ですが、タブレットの利用の進捗状況についてでした。1日にどれくらいの頻度で使用しているかというデータはないのですけれども、南区の学校訪問をしていると、導入当初のとにかく使うことに慣れましょうという段階は、だいぶクリアしているというふうに感じています。活用の場面としましては、各教科で自分の考えを伝えたり、友だちと自分の考えの違いや、同じところに気づいたりする道具として使う。それから、アウトプットの道具として使うなどで、情

報活用能力の育成が進んできています。

次の段階としては、どのような場面で意図的にタブレットを使っていくかという段階へ進み始めています。また、シンキングツールを子どもに選ばせて使用する授業も見られはじめています。

家庭での使用についてですが、インターネットにつながってなくてもできる宿題などで使用させています。例えば、理科のレポート作成、作文作成、技能教科、例えば、家庭科などで自分のうちでやったことを写真で撮ってきなさいといった、そういう宿題などでタブレットを使用しているという例があります。

2点目ですが、機器の利用についていけない児童、生徒はいるのかという質問でした。各学校には、授業で機器の操作補助をするICT支援員が配置されています。また、子どもが操作に戸惑わないように授業者が配慮しています。教師用のタブレットから児童・生徒が何をしているか、どのような状態なのか把握できるようになっていて、戸惑っている子どもがすぐ分かります。その子どものところに行って個別指導ができます。ときにはタブレット操作のしかたをテレビにリアルタイムで映して解説しています。また、授業者が一斉送信で子どもたちに画面などを送付して、全員が同じ画面を見られるようにします。このようにして、機器の利用に戸惑わないように配慮しています。

○議長（高橋会長） ほかにございませんか。

○鞆子委員 今、教育支援センターでお話されたことに少し関連することなのですが、今、コミュニティスクールというものを小学校、中学校で行っていきまして、私も大通小や、北中のコミュニティスクールのメンバーになっています。この前も校長先生にお話はさせていただいたのですが、学校が非常に蚊帳の中なのです。壁の向こうなのです。いろいろなことが分からない中で、コミュニティスクールというものをやって、そこに入って初めて、教育支援センターのご説明があったような内容が理解できる。それはメンバーだから理解できるのであって、もっとオープンにして、可視化をしてくださいという依頼を出しています。でも、それは各学校が判断するのではなくて、私は全体のことだと思っているのです。あるコミュニティスクールに私がメンバーとして言うのは、鞆子の意見なのです。ですけれども、私がコミュニティ協議会を代表して行っている以上は、いろいろな人の意見を持ってそこに出なければいけないときに、非常にその壁が閉ざされているので見えないのです。ですから、その辺も含めて、各学校の校長がそこまで判断していただけるということは、少し別な話だと思うので、今後、そういう見える化の方向に持っていけるように出していただければ、いろいろな地域の声が、例えば私のところに集まって、そこで発言ができるというようになっていきます。

それから、もう一つお願いです。これは小学校、中学校でも同じなのですが、コミュニティスクールのときの議事録が出てこないのです。非常にポイント的なものが学校だよりとか何かには出てくるのですが、鞆子は何言った、どうだこうだの議事録が出てこないのです。その議事録も作っていただきたい。集いとかがあったときに、今言った二つの方向性について、ちょっと意見参画していただきたいというお願いです。

○小菅南区教育支援センター所長 ありがとうございます。伝えたいと思います。

○議長（高橋会長） ほかにございませんか。ないようですので、(4)その他はこれで終わりといたします。

○事務局（鈴木地域総務課長補佐） 事務局からこのほかにお配りした三つのチラシについて、簡単にご案内をさせていただきます。はじめにこの緑色っぽい色をしたチラシをご覧いただきたいと思います。令和4年度の特徴ある区づくり事業で取り組みを行います、南区防災セミナーについてです。今年のセミナーについては、大河津分水通水100周年を記念して、治水の大切さといったものをテーマに講演などを行う予定にしています。白根の出身で大河津分水の建設の立役者・田澤實入のお話から中ノ口川の洪水から住民を救った米俵の一人語りまで興味を持っていただけるような工夫をしたつもりでいます。開催は12月1日（木）午後2時から会場はラスベックホールです。参加費は無料です。お申し込みも不要ですので、ぜひ多くの方からご参加をいただきたいというふうに思っています。先着200名ということになります。

次に、紫色をしたチラシになります。「安兵衛が暮らした名家長井家の家宝展」というチラシをご覧ください。これは令和元年に南区が寄贈を受けました、家宝30点余りを展示する展示会で

す。令和元年度に企画実施を進めていたのですが、新型コロナのために延期をしていたものです。開催期間は11月13日（日）から17日（木）までの5日間、こちらは学習館の2階ルーム1・2を会場に行います。観覧は無料です。あわせて、庄瀬コミュニティ協議会がまちづくり活動サポート事業で取り組みを行います記念講演会、こちらも初日に当たります11月13日（日）初日にぶつけて、ラスペックホールで開催する計画です。講演のテーマは「長井家と宝物」長井家のご子孫お二人が講演を行います。こちらについては、申し込みが必要です。庄瀬地域生活センターまでお電話いただきたいと思います。この長井家家宝展につきましては、11月6日号の南区だよりでもお知らせをする予定にしています。

お終まいにもう一枚。議会報告会というチラシをご覧くださいと思います。今回は11月27日（日）午後2時から鷺巻地域生活センターで行います。構成は2部構成です。第1部が議会報告、第2部が意見交換となっています。お申し込みは不要です。ただし、オンラインで参加をしたいという方は申し込みが必要ですのでご注意ください。詳しくはチラシの右下に二次元コードがありますので、こちらからご確認をいただきたいと思います。

以上、三つの催しについてご案内をいたしました。ここにいらっしゃいます大勢の皆さんからご参加をいただけたら、大変うれしく思います。説明は以上です。

○議長（高橋会長） 最初に私のごあいさつの中でお話をした、小林へろさんの昔語り、大変好評だったということで、再演をされるそうです。あの感動をも味わってみたい、共有してみたいという方は、ぜひおいでいただきたいと思います。本当にいいですよ、この方の語りは。20分間ですので、同じ内容でやるのではないかと思います。ぜひお聞きいただければと思っております。

4 次回全体会の日程について

令和4年11月30日（水） 午後2時から 南区役所4階講堂

5 閉会

○議長（高橋会長） 以上をもちまして、第6回南区自治協議会を終了いたします。どうもありがとうございました。

（午後2時55分）